

助産雑誌 Back Number

バックナンバーのご案内

2012 年 8 月号

特集 混合病棟でもモチベーションを保つ!

産科に混合病棟化の波が押し寄せるなか、働く人のモチベーション低下、現任教育機会の減少などさまざまな課題が明らかになっています。混合病棟で助産師がモチベーションを保ち、助産師らしいケアをするためにはどうすればいいのか、実践から探ります。



2012 年 7 月号

特集 助産師と会陰裂傷縫合

これまで可否が明確にされてこなかった、助産師による会陰裂傷縫合。厚生労働科学研究での会陰裂傷縫合に関する報告や、教育現場で卒業時到達目標に挙がるなど、新しい動きがあります。裂傷させない技術も意識しながら、現場での取り組みをご紹介します。



2012 年 6 月号

特集 東日本大震災の記録

私たちの記憶に深く刻まれた3月11日から1年以上が経ちました。今後も起こるであろう震災に備えて記録し、伝えていくことが、未来のために必要なことだと思います。助産師として何ができたか・何ができるか——記録から学ぶ特集です。



2012 年 5 月号

特集 正しい情報を得て、続けよう 出生直後のカンガルーケア

出生直後の母子の皮膚接触は、体温の安定や母乳育児の推進に大きな効果があります。事故がたびたび報道されていますが、直接の原因がほかにある事例もあるようです。報道に惑わされず、きちんとしたケア体制のもとで続けていただきたいと思います。



2012 年 4 月号

特集 働くお母さんの 妊娠・出産・母乳育児を支援する

妊娠中や産後の生活において「仕事」が大きな位置を占めているという事実を意識することで、アセスメントの視点や保健指導の内容が変わってきます。今回は「勤労者」に的を絞って、健やかな妊娠・出産・母乳育児のための支援について考えます。



2012 年 3 月号

特集 周産期ハイリスクケアの構築

ローリスク妊産婦を対象とした助産外来・院内助産の必要性が高まる一方で、ハイリスクとなる母子も増えています。そのような妊産婦には、医療だけではなく心理的・社会的にも特有のケアを考えていく必要があります。ハイリスクケアの方向性を探ります。



2012 年 2 月号 特集 分娩時の“いきみ”について考える

1 月号 特集 入院の短期化に伴う母乳育児支援

2011 年 12 月号 特集 感染対策どうしていますか 正常妊産婦・新生児の院内感染管理

11 月号 特集 1 ICM 大会 2011 レポート 特集 2 母子の健康と環境影響

10 月号 特集 女性と乳がん ブレスト・アウェアネスを助産実践に活かす

9 月号 特集 現場からの変革 専門看護師、チームとともに挑戦中!

バックナンバーの
取り扱いについて

①2010 年 9 月号以降の雑誌は、弊社販売部(TEL: 03-3817-5659, 5660)にて承ります。

②それ以前のものについてのご注文や在庫のご照会などは、下記へお願いいたします。

株式会社東亜ブック 〒171-0014 東京都豊島区池袋 4-13-4 TEL: 03-3985-4701 FAX: 03-3985-4703